

# PTAの活動紹介 第9回

## 地域とともに学校を支えるPTA活動

### ～足立区立中川北小学校PTA～

#### 足立区立中川北小学校

- 開校 昭和47年4月  
中川小学校の分校として開校
- 児童数 513名
- 校長 笹原 天平
- OPTA会長 石井 隆之(平成29年度)

足立区立中川北小学校は、綾瀬駅からバスで約20分の住宅街に位置し、一昨年度創立45周年を迎えた小学校です。今回は、地域と連携しながら学校を支える、足立区立中川北小学校PTA(以下「中北小PTA」という。)の取組を紹介します。

#### ○「できる人ができるときにする」活動へ

中北小PTAは、本部役員会のほかに、成人委員会(保体、文化)、広報委員会、校外委員会及び学年委員会で構成され、各委員会は「できる人ができるときにする」という方針の下、主体的に活動を行っています。活動内容は多岐にわたりますが、本当に必要な活動は何か、積極的に活動の見直しについて検討を進めながら、それぞれが負担軽減を意識し、活動を進めています。また、会長自身も平日は仕事をしているため、会議は月1回程度に抑えるなど、工夫をしながらPTA活動に取り組んでいます。

#### ○地域とともに学校を支援

足立区立中川北小学校には、「開かれた学校づくり協議会」※が設置されており、町会自治会長や民生・児童委員等の方々とともに、中北小PTAの現役役員も委員として関わっており、様々な学校支援活動を行っています。例えば、土曜事業部会では、小学生のキャリア教育の場として地域の方々に講師として招き、木工教室、太鼓教室、茶道教室、「地域のちから講演会」なども実施しています。

地域と学校が連携・協働していく上で、PTAが保護者代表として地域と学校の橋渡し役となって、活動を支えています。



土曜事業部会の授業風景



ごみの分別について声掛けを行う  
ボランティア☆キッズ

#### ○中北まっりの開催

中北小PTAの年間行事の一つに「中北まつり」があります。昨年13回目を迎えた中北まつりは、PTAのほかにも地域のクラブチームや町会など様々な方々の協力を得て開催されました。当日はあいにくの雨天でしたが、大盛況のうちに終わることができました。中北まつりでは飲食を提供するブースも多く、ごみの適切な処理が課題となっていました。中北小PTA会員とともに5、6年生の有志が協力して、ごみの分別について積極的に声掛けを行い、分別作業がスムーズにいくようになっていきました。

#### ○OPTA活動とは

「PTA活動を通じて地域の方々とつながりを持つことができ、自分自身を成長させてくれる場となっています。まずは保護者たちが活動を楽しみ、結果としてそれが子供たちのためになっていくような組織を目指していきたい。」と会長が力強く語っていました。中北小PTAでは、各会員が活動の意義を見出しつつ、地域とともに子供たちや学校を支えるPTA活動を続けています。

※開かれた学校づくり協議会…学校・家庭・地域が力を合わせて地域性を生かした特色ある学校活動を進め、児童・生徒の「たくましく生き抜く力」や「豊かな心」を育てていくことを目指し、足立区の全ての学校に設置されている協議会

取材協力：一般社団法人東京都小学校PTA協議会

当協議会は、都内公立小学校PTA活動の一助となるよう、様々な事業を行っています。共働き家庭も増え、PTA活動に時間を割くことも難しくなっていますが、各PTAではどんな工夫をしているのでしょうか。今年度はそんな情報も発信・共有できればと考えています。HPも是非御覧ください。【都小P】で検索してください。